

そと・まち・自然

子どもにやさしいまちのかたち

9/13 (土) 13:30-16:30 福岡市美術館



Illustration by A.Abe KWUC

- 子どもまんなかまちづくり
- インクルーシブな遊び場・居場所づくり
- ウォークブルで出会いを誘発するまちの界隈性
- まちなか公共空間における都市緑地のあり方
- まち保育（まちで育てるーまちで育つ
まちが育てるーまちが育つ）

楽々建築・楽々都市@福岡では『そと・まち・自然、子どもにやさしいまちのかたち』をテーマとして、子どもたちや子育て世代が、多様な体験を育みながら、自分たちの居場所を発見できるようなまちづくりのあり方について、3つの間：時間・空間・仲間の関係性を通じて議論していきたいと思ひます。

登壇・討論者には、長年、福岡でこどものあそび場づくりや居場所づくりについて研究実践してこられた古賀さん、山下さん、海の中道海浜公園でプレイパークを運営研究されてこられた柴田さん、また、福岡や九州の景観・街並・まちづくりに精通され、福岡を代表するランドスケープデザイナーである徳永さん、更に横浜から、「まち保育」の提唱を通じて子育てをまちづくりと捉える啓発・推進活動を研究実践してこられた三輪さんをお招きして議論を深めたいと思ひます。

第1部：講演

- ①『場』が育む子どもの未来ーインクルーシブなあそび場づくりー（国営 海の中道海浜公園の取り組み）

古賀彩子（一般社団法人PLAY FUKUOKA 代表理事）
柴田隆一（一般財団法人公園財団 海の中道管理センター 企画課 課長）

- ② つながりで育むランドスケープ

徳永哲（株式会社ランドスケープむら代表取締役、
一般社団法人まちにわ代表理事
九州大学芸術工学部非常勤講師）

- ③ まちを開いて子どもと育つまちづくり

三輪律江（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授、
代表編著『まち保育のススメ（萌文社）』）

第2部：討論「子どもにやさしいまちのかたち」登壇者①②③

- コメンテータ：
山下智也（北九州市立大学文学部人間関係学科・教授、
きんしゃいきゃんぱす代表）

- 司会&コーディネーター：
佐久間治（九州女子大学家政学部生活デザイン学科・
特任教授、子ども教育支援建築会議運営委員）

主催：日本建築学会 子ども教育支援建築会議

（問合先：学会事務局担当 [kodomo\(at\)aij.or.jp](mailto:kodomo(at)aij.or.jp) *(at)=@に変換ください）

日時：9月13日（土）13:30~16:30（予定） 参加費 無料、定員50名

会場：福岡市美術館 アートスタジオ（前川國男設計：福岡市中央区大濠公園1-6）

申込：<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=705409> ※切:9月1日（月）

※右記のQRコードからも申込リンクにアクセスいただけます

